令和4年度入学生用カリキュラムマップ

【生活環境学研究科 食物栄養学専攻　修士課程 健康栄養科学コース】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1. 知識・理解		2．技能・表現				3．思考・判断			4. 態度・志向性		5．統合的能力			
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1	5-2	5-3	5-4
22MFNH1301	論　文　指　導	1,2	健康栄養科学コースにおいて、その特定の研究課題で研究活動を実践し修士論文を完成させる。	特定の研究テーマを設定し、修士論文の完成を目標とする。		◎			◎	◎	◎	◎	◎		◎		◎	◎	◎
22MFNH1302	食物栄養科学特別実験Ⅰ	1	健康栄養科学コースにおいて、特定の研究課題で研究を実践させることにより、研究活動を自主的に展開できる能力を養うことを目的とする。	特定の研究テーマを設定し、修士論文作成のためのデータ収集を目指す。		◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎
22MFNH2303	食物栄養科学特別実験Ⅱ	2	健康栄養科学コースにおいて、特定の研究課題で研究を実践させることにより、研究活動を自主的に展開できる能力を養うことを目的とする。	特定の研究テーマを設定し、修士論文作成のためのデータ収集を目指す。		◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎
22MFNH1104	栄養疫学特論	1	生活習慣病対策における食習慣の改善は最も重要な課題の一つである。この課題を実現するためには、栄養と疾病との因果関係の解明から政策立案まで疫学を活用していく必要がある。そこで、疫学の基本概念から栄養疫学の研究デザインの企画までを理解することを目標とする。 また、今後の管理栄養士による研究・指導のニーズを踏まえ、身体活動疫学価についても理解を深める。	栄養疫学に関連する知識をより深く理解する。 栄養疫学の現状を理解する。	◎		○	◎	○	○	○	○	◎	◎		◎		○	
22MFNH1105	生物統計学	1	生物統計学の概念および食物栄養学分野における基礎、臨床、疫学それぞれの専門分野で必要となるデータ収集、解析処理の基礎理論と方法論を学ぶ。	専門各分野における生物統計学の必要性と基本を理解する。 食物栄養学に関する現象を統計学的に処理する手法および得られた結果を解釈、判断できる能力を身につける。			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
22MFNH1106	健康情報解析実践論	1	医学または疫学研究におけるデータ分析および結果の提示の基本的な手法をマスターすることを目標とする。とくに、具体的なサンプルデータを用いた実践的な分析力を養成する。	与えられたデータについて研究計画を立案できる。 調査データを収集するうえでの留意点を理解する。 必要な統計手法を適切に選択できるようになる。 統計手法を駆使するためのパソコンソフトを活用できるようになる。 得られた分析結果の解釈が適切にできるようになる。 学会等で結果をうまくプレゼンテーションできるようになる。	◎		◎	◎	○	○	○	○	○	○				◎	
22MFNH1107	栄養学特論	1	栄養に関する様々な生命現象・生命活動について最新のトピックを複数取り上げ、分子生物学的または細胞生理学的な視点で解説・ディスカッションを実施して栄養素や食品成分の生体や細胞での役割や機序を明らかにするための研究上の方法論も取り扱いながら理解することを学ぶ。	栄養素や食品成分の生体や細胞での役割や機序を明らかにするための研究上の方法論や関連する学術論文の読解とプレゼンテーションできるようになる。	◎	◎				◎		○						◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1. 知識・理解		2．技能・表現				3．思考・判断			4. 態度・志向性		5．統合的能力				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1	5-2	5-3	5-4
22MFNH1208	応用栄養学特論	1	ライフステージおよびライフスタイルにおける心身の特徴と栄養生理を学び、生活習慣病の発症となる栄養関連要因を疫学調査報告から学ぶ。	対象者の問題点を的確にとらえ、解決に向けて必要な考え方やスキルを修得する。	◎		◎	○			◎								
22MFNH1209	栄養教育論特論	1	栄養教育の実践と研究に活用される行動科学理論・モデルの基本について学ぶ。	栄養教育の介入研究を計画するプロセスにそって目的・目標設定、評価デザインの決定、介入プログラムの立案、関係職種との連携・協働および評価計画ができる能力を身につける。	◎		◎	◎			○				◎			◎	
22MFNH1210	臨床栄養学特論	1	個々の患者に適切な栄養療法を病態別のみならず緩和医療、ターミナルにいたる個々の患者に適した病態別栄養療法および終末期医療における栄養ケアについて学習する。	臨床上遭遇するすべての栄養ケアの内容を検討できる能力を身につける。	◎	◎	◎			◎	○			○	○				
22MFNH1211	公衆栄養学特論	1	人々の健康状態や食生活に影響を与える環境要因としての自然・社会環境の種類とそれらの重要性を理解し、特定集団を対象とした環境と栄養問題の関連性について学ぶ。	公衆栄養活動における科学的根拠の重要性について学習し、評価できる能力を身につける。	◎		◎	◎			◎				◎				
22MFNH1212	給食経営管理特論	1	給食施設における食事提供のためのシステムやマネジメントサイクルの意義や特徴を理解することを学ぶ。	給食の運営・管理に関する課題を抽出するスキル・能力を身につける。さらに給食の運営・管理についての課題解決策ができる能力を身につける。		◎	◎		◎		◎								
22MFNH1213	栄養免疫学特論	1	免疫に関する基礎知識の習得、ならびに栄養と免疫のかかわりについて記載されている文献などから、この分野における現状や研究の進め方などを習得することを目的とする。	栄養免疫学に関する最先端の情報の把握ならびに研究活動における基礎力を習得する。	○	◎				◎	○	○		○				◎	
22MFNH1214	身体活動と栄養	1	適正な身体活動量の確保は人々の健康の保持・増進にとって不可欠である。同時に、身体活動を支える栄養摂取との相互関係が重要となる。この科目は健常者、疾病を有する者、特別な環境におかれている者についての身体活動と栄養との関係を学習する。	身体活動の重要性を理解する。 健常者、疾病を有する者、特別な環境におかれている者についての身体活動と栄養との関係を理解する。	◎	○													
21MFNH1215	食環境科学特論	1	地球規模の環境汚染、環境破壊が進んでいる現状を認識し、人の健康被害予防における食糧・食品と環境問題の関わりを過去の食品汚染事件事例とともに理解する。	自分の周りの食環境を理解することにより、管理栄養士として食の大切さを会得することができる。				◎			○	○	◎	◎		◎			
22MFNH1216	病態栄養生理学特論	1	実践管理栄養コースにおいては、特定の研究課題で研究を実践させることにより、研究活動を自主的に展開できる能力を養わせるとともに、実践的研究能力を向上させる。専門分野において優れた実務能力を有する管理栄養士を養成することを目標とする。そこで、本科目では癌をふくめた生活習慣病について、最新の情報を理解し、国家的戦略も含めた対策について学習する。	生活習慣病は、管理栄養士にとって、もっとも遭遇する機会の多い疾患である。これらの疾患について、公衆衛生的な知識および現在行われている対策について学習する。また生活習慣病について、実地臨床で必須である医学的知識についても学習する。 また、それぞれの項目について、現在、方法論が確定していない対策もあるため、それについてはそれぞれ、グループごとにグループディスカッションを用いたアクティブラーニングを行う。これにより課題についての十分な理解と表現力を養う。	◎	○	◎	○		○			◎	◎		◎		○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1. 知識・理解		2．技能・表現				3．思考・判断			4. 態度・志向性		5．統合的能力				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1	5-2	5-3	5-4
22MFNH1217	病態栄養生理学研究特論	1	特定の研究課題で研究を実践させることにより、研究活動を自主的に展開できる能力を養わせるとともに、実践的研究能力を向上させる。専門分野において優れた実務能力を有する管理栄養士を養成することを目標とする。そこで、本科目では癌をふくめた生活習慣病について、最新の情報を理解し、国家的戦略も含めた対策について学習する。	生活習慣病は、管理栄養士にとって、もっとも遭遇する機会の多い疾患である。これらの疾患について、公衆衛生的な知識および現在行われている対策について学習する。また生活習慣病について、実地臨床で必須である医学的知識についても学習する。 また、それぞれの項目について、現在、方法論が確定していない対策もあるため、それについてはそれぞれ、グループごとにグループディスカッションを用いたアクティブラーニングを行う。これにより課題についての十分な理解と表現力を養う。	◎	○	◎	○		○			◎	◎		◎		○	
22MFNH1218	福祉行政論特論	1	日本国憲法第二十五条に規定される国民の権利である、「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を具体化するための福祉行政、福祉施策のあり方についての理解を深める。	社会福祉、社会保障問題の現状分析と生活全般の改善を通した健康づくりに関する種々の課題を可決するための能力を身につける。	◎		◎	○			○	○		◎		◎		○	
22MFNH1219	高齢医学特論	1	高齢者の増加に伴って、管理栄養士として高齢者に関する基本的な知識を十分習得することが必要である。本授業では、高齢者の栄養学的特徴を理解することによって、管理栄養士として高齢者診療に必要な基本的な知識を習得することを目的とする。	1．高齢者の栄養学的特徴を理解する。 2．高齢者の栄養学的特徴をもとに、症例の病態に応じた栄養管理計画が立案できる。 3．最新の高齢者栄養に関する文献を収集できる。 4．最新の高齢者栄養に関する文献を理解できる。 5．グループワークで的確に発表できる。	◎		◎	○			○			◎		◎	○		
22MFNH1220	医療倫理特論	1	医療は、その性質から厳しい規制や遵守すべき事項が多くある。医療従事者は、これらの必然性について歴史的な意味も含めて十分理解したうえで実践していかなければならない。各人が倫理観を培い、今後生じてくるであろう新たな医療問題についても自身で考えうる能力を身につけることを目的とする。	1．医療倫理について理解する。 2．医療倫理に基づき、栄養管理を考えることができる。 3．事例ごとに、具体的に医療倫理の考えを応用できる。			◎	◎						◎					
22MFNH1221	健康政策学特論	1	人々の健康を決定づける要因は、個人が持つ生物学的機能のみではない。この科目では、人々を取り巻く社会環境としての健康に関する政策および政策を実現するための法律や制度について、受講生とともに考えることを目的とする。	社会環境と健康との関連性について理解できる。 健康政策とは何かについて理解できる。 健康政策実現化の方法について理解できる。 代表的な健康政策について理解するとともに、その政策について意見することができる能力を身につける。	◎		○	◎					○	◎		◎			◎
22MFNH1222	健康管理学研究特論	1	集団を構成する人々の健康状態は、個人要因と環境要因とが絡み合って決定される。本科目では、環境要因に注目し、地域や職域に存在する環境要因と人々の栄養問題との関係を探索する手法および課題解決の考え方、手法を理解する。	人々の健康状態や食生活に影響を与える環境要因が理解できる。 環境と栄養問題との関連性についての先行研究が理解できる。 健康対策の代表的なモデルについての理解を通して、課題解決の多面的アプローチが理解できる。	◎			◎		○	○	○	○	◎	○			◎	
22MFNH1323	臨床医学スキルアップ実習	1	大阪大学臨床医工学融合研究教育センターの教育プログラムと本学大学院プログラムとの連携により、医学部、歯学部、工学部、薬学部といった既存の枠を越えた臨床実践教育や実習を実施し、医療ニーズ・患者ニーズを理解した高度先端医療に従事できる人材を育成する。	小人数グループによる系統的講義と実習によって構成される。例えば、必須科目である臨床医学スキルアップ実習では、医療現場や患者のニーズの理解を体験的に深めることを目的として、循環器や消化器の疾病や治療の最前線に関する講義や模擬体験を行う。	◎		◎							○		◎	○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1. 知識・理解		2．技能・表現				3．思考・判断			4. 態度・志向性		5．統合的能力			
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1	5-2	5-3	5-4
22MFNH1324	栄養教諭論特論	1	栄養教諭として学校現場における児童生徒を対象とした「食に関する指導」を行うにあたり、児童生徒の発達段階に応じた健康・栄養状態、食行動、食環境を分析し、総合的に評価、解析、判定する能力を養う。これらの専門的知識を学校現場等で実践する能力を養う。	栄養教諭の役割と職務内容を把握し、児童生徒の発育・発達および学習能力の発達に応じた食に関する指導を理解する。また、食に関する指導を行うにあたり、栄養教育の意義、定義を理解し、児童生徒の発達段階に応じた栄養教育プログラムの作成や評価する能力および食行動変容を踏まえた個別栄養相談指導について理解する。	○		◎					◎			○			◎	
22MFNH1325	食教育実践論	1	食教育の目的は、「学習者が望ましい食行動を維持・継続できるように教育的支援を行うこと」である。本講義では、その目的を達成するために、①「食に関する指導」の基礎理論を理解する。②「食に関する指導」の応用力と実践力を培う。③豊かなコミュニケーションを構築する能力を養う。	栄養教諭の職務を理解し、児童生徒の学習発達理論や行動科学の理論等の基礎知識を踏まえた食教育の実践力を培う。さらに、楽しい授業づくりについての認識を深め、学生間で、食に関する指導の模擬授業・発表・相互評価を行い応用力を高める。また、個別指導において必須のコミュニケーション技術について修得する。			◎					○		○			◎		○
－	食品衛生学特論	1	食品の安全に関する考え方、制度や仕組みについての最新情報および高度な専門知識を身につける。	原発事故に伴う放射性物質による食品汚染や大規模な食中毒事件など、食品の信頼性をゆるがす事件・事故が頻発している。本講義では、食品安全の現状と課題について理解する。		◎			◎		○	○			○			◎	
－	食品安全科学特論	2	食品関連化学物質の安全性を正しく評価・管理・広報し、それらが安全に健康増進機能を発揮する条件や、当該機能の内容と背景メカニズムを明らかにすることを学ぶ。	食品安全科学に関する最新情報や研究動向と、当該分野についての先端知識を把握し、自らの知識として利用できることが目標である。	◎		◎	◎	◎		○	○	○	○	○			◎	
－	健康食品学特論	2	健康食品は、一般に「特定保健用食品」、「栄養機能食品」、「機能性表示食品」、いわゆる「健康食品」に分類されるが、いずれにしてもこれらの食品が安全で、確実に効くことが科学的に証明されていることが重要である。本講義では、これら健康食品の安全性や有効性の科学的根拠となる論文についてセカンドオピニオンを実施し、医学・食品学・栄養学の立場から健康食品の有用性について考察する。	食品および食品成分の安全性や有効性の評価に必要な毒性試験や効力試験に関する知識を身につけることで、市販されている各種健康食品の安全性や有効性を正しく評価できるようになることが目標である。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○		◎	
－	栄養ケア食品特論	2	乳児、授乳婦や病者などを対象とした特別用途食品について理解を深め、それぞれの対象者が適切に選択、利用、適正な栄養管理がなされるような支援策を検討する。 特別用途食品を活用した調理法に関する支援策を検討する。 特別用途食品を活用した栄養指導法について検討する。 対象者の特性に応じた特別用途食品の選択方法に関する支援策を検討する。	特別用途食品に含まれる病者用、妊産婦・授乳婦用、乳児用、えん下困難者用の各食品ならびに特定保健用食品について、製品の評価と現場で有効に活用するために必要な知識と能力を身につける。	◎		◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○		◎	

令和4年度入学生用カリキュラムマップ

【生活環境学研究科 食物栄養学専攻　修士課程 実践管理栄養コース】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1. 知識・理解		2. 技能・表現				3. 思考・判断			4. 態度・志向性		5. 統合的能力				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1	5-2	5-3	5-4
22MFNP1301	論　文　指　導	1,2	実践管理栄養コースにおいて、その特定の研究課題で研究活動を実践し修士論文を完成させる。	特定の研究テーマを設定し、修士論文の完成を目標とする。	◎		◎				◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎
22MFNP1302	実践管理栄養特別実習Ⅰ	1	病院の管理栄養士に必要な包括的な栄養アセスメント能力を高めるとともに、現場から研究課題を抽出する能力をつける。また、最新の学術論文の知見をもとに、研究課題についての考察や総合的な評価ができるようになることを目的とする。	1．症例について、プレゼンテーションやディスカッションができる。 2．海外の論文抄読ができる。 3．論文をもとに、症例についての包括的なアセスメントができる。 4．現場の中から、研究課題を抽出できる。 5．研究課題に関連する論文を選び、考察することができる。	◎		◎				◎	◎	◎	◎		◎	◎		
22MFNP2303	実践管理栄養特別実習Ⅱ	2	実地研修では、管理栄養士として、特定の研究課題で研究を実践させることにより、研究活動を自主的に展開できる能力を養わせるとともに、実践的研究能力を向上させることを目的とする。	1．病院管理栄養士としての栄養管理業務が行えるようになる。 2．実地研修での研究成果は、臨床栄養関連の学会にて発表を行う。 3．研究課題は、修士論文にまとめる。	◎		◎				◎	◎	◎	◎		◎	◎		
22MFNP1104	栄養疫学特論	1	生活習慣病対策における食習慣の改善は最も重要な課題の一つである。この課題を実現するためには、栄養と疾病との因果関係の解明から政策立案まで疫学を活用していく必要がある。そこで、疫学の基本概念から栄養疫学の研究デザインの企画までを理解することを目標とする。 また、今後の管理栄養士による研究・指導のニーズを踏まえ、身体活動疫学価についても理解を深める。	栄養疫学に関連する知識をより深く理解する。 栄養疫学の現状を理解する。	◎		○	◎	○	○	○	○	◎	◎		◎		○	
22MFNP1105	生物統計学	1	生物統計学の概念および食物栄養学分野における基礎、臨床、疫学それぞれの専門分野で必要となるデータ収集、解析処理の基礎理論と方法論を学ぶ。	専門各分野における生物統計学の必要性と基本を理解する。 食物栄養学に関する現象を統計学的に処理する手法および得られた結果を解釈、判断できる能力を身につける。			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						
22MFNP1106	健康情報解析実践論	1	医学または疫学研究におけるデータ分析および結果の提示の基本的な手法をマスターすることを目標とする。とくに、具体的なサンプルデータを用いた実践的な分析力を養成する。	与えられたデータについて研究計画を立案できる。 調査データを収集するうえでの留意点を理解する。 必要な統計手法を適切に選択できるようになる。 統計手法を駆使するためのパソコンソフトを活用できるようになる。 得られた分析結果の解釈が適切にできるようになる。 学会等で結果をうまくプレゼンテーションできるようになる。	◎		◎	◎			○	○	○	○				◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1. 知識・理解		2. 技能・表現				3. 思考・判断			4. 態度・志向性		5. 統合的能力				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1	5-2	5-3	5-4
22MFNP1107	栄養学特論	1	栄養に関する様々な生命現象・生命活動について最新のトピックを複数取り上げ、分子生物学的または細胞生理学的な視点で解説・ディスカッションを実施して栄養素や食品成分の生体や細胞での役割や機序を明らかにするための研究上の方法論も取り扱いながら理解することを学ぶ。	栄養素や食品成分の生体や細胞での役割や機序を明らかにするための研究上の方法論や関連する学術論文の読解とプレゼンテーションできるようになる。	◎		◎											◎	
22MFNP1208	応用栄養学特論	1	ライフステージおよびライフスタイルにおける心身の特徴と栄養生理を学び、生活習慣病の発症となる栄養関連要因を疫学調査報告から学ぶ。	対象者の問題点を的確にとらえ、解決に向けて必要な考え方やスキルを修得する。		◎	◎			◎	◎			◎						
22MFNP1209	栄養教育論特論	1	栄養教育の実践と研究に活用される行動科学理論・モデルの基本について学ぶ。	栄養教育の介入研究を計画するプロセスにそって目的・目標設定、評価デザインの決定、介入プログラムの立案、関係職種との連携・協働および評価計画ができる能力を身につける。			◎				○	○		○				◎	
22MFNP1210	臨床栄養学特論	1	個々の患者に適切な栄養療法を病態別のみならず緩和医療、ターミナルにいたる個々の患者に適した病態別栄養療法および終末期医療における栄養ケアについて学習する。	臨床上遭遇するすべての栄養ケアの内容を検討できる能力を身につける。			◎			◎		○						◎	
22MFNP1211	公衆栄養学特論	1	人々の健康状態や食生活に影響を与える環境要因としての自然・社会環境の種類とそれらの重要性を理解し、特定集団を対象とした環境と栄養問題の関連性について学ぶ。	公衆栄養活動における科学的根拠の重要性について学習し、評価できる能力を身につける。		◎		◎			◎				◎				
22MFNP1212	給食経営管理特論	1	給食施設における食事提供のためのシステムやマネジメントサイクルの意義や特徴を理解することを学ぶ。	給食の運営・管理に関する課題を抽出するスキル・能力を身につける。さらに給食の運営・管理についての課題解決策ができる能力を身につける。		◎			◎						○				
22MFNP1213	栄養免疫学特論	1	免疫に関する基礎知識の習得、ならびに栄養と免疫のかかわりについて記載されている文献などから、この分野における現状や研究の進め方などを習得することを目的とする。	栄養免疫学に関する最先端の情報の把握ならびに研究活動における基礎力を習得する。	○	◎				◎	○	○		○				◎	
22MFNP1214	身体活動と栄養	1	適正な身体活動量の確保は人々の健康の保持・増進にとって不可欠である。同時に、身体活動を支える栄養摂取との相互関係が重要となる。この科目は健常者、疾病を有する者、特別な環境におかれている者についての身体活動と栄養との関係を学習する。	身体活動の重要性を理解する。 健常者、疾病を有する者、特別な環境におかれている者についての身体活動と栄養との関係を理解する。	◎	○													
22MFNP1215	食環境科学特論	1	地球規模の環境汚染、環境破壊が進んでいる現状を認識し、人の健康被害予防における食糧・食品と環境問題の関わりを過去の食品汚染事件事例とともに理解する。	自分の周りの食環境を理解することにより、管理栄養士として食の大切さを会得することができる。	◎			◎			○	○	◎	◎		◎			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																	
					1. 知識・理解		2. 技能・表現				3. 思考・判断			4. 態度・志向性		5. 統合的能力				
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1	5-2	5-3	5-4
22MFNP1216	病態栄養生理学特論	1	実践管理栄養コースにおいては、特定の研究課題で研究を実践させることにより、研究活動を自主的に展開できる能力を養わせるとともに、実践的研究能力を向上させる。専門分野において優れた実務能力を有する管理栄養士を養成することを目標とする。そこで、本科目では癌を含めた生活習慣病について、最新の情報を理解し、国家的戦略も含めた対策について学習する。	生活習慣病は、管理栄養士にとって、もっとも遭遇する機会の多い疾患である。これらの疾患について、公衆衛生的な知識および現在行われている対策について学習する。また生活習慣病について、実地臨床で必須である医学的知識についても学習する。 また、それぞれの項目について、現在、方法論が確定していない対策もあるため、それについてはそれぞれ、グループごとにグループディスカッションを用いたアクティブラーニングを行う。これにより課題についての十分な理解と表現力を養う。	◎		◎	○					◎	◎		◎		○	
22MFNP1217	病態栄養生理学研究特論	1	特定の研究課題で研究を実践させることにより、研究活動を自主的に展開できる能力を養わせるとともに、実践的研究能力を向上させる。専門分野において優れた実務能力を有する管理栄養士を養成することを目標とする。そこで、本科目では癌を含めた生活習慣病について、最新の情報を理解し、国家的戦略も含めた対策について学習する。	生活習慣病は、管理栄養士にとって、もっとも遭遇する機会の多い疾患である。これらの疾患について、公衆衛生的な知識および現在行われている対策について学習する。また生活習慣病について、実地臨床で必須である医学的知識についても学習する。 また、それぞれの項目について、現在、方法論が確定していない対策もあるため、それについてはそれぞれ、グループごとにグループディスカッションを用いたアクティブラーニングを行う。これにより課題についての十分な理解と表現力を養う。	◎		◎	○					◎	◎		◎		○	
22MFNP1218	高齢医学特論	1	高齢者の増加に伴って、管理栄養士として高齢者に関する基本的な知識を十分習得することが必要である。本授業では、高齢者の栄養学的特徴を理解することによって、管理栄養士として高齢者診療に必要な基本的な知識を習得することを目的とする。	1．高齢者の栄養学的特徴を理解する。 2．高齢者の栄養学的特徴をもとに、症例の病態に応じた栄養管理計画が立案できる。 3．最新の高齢者栄養に関する文献を収集できる。 4．最新の高齢者栄養に関する文献を理解できる。 5．グループワークで的確に発表できる。	◎		◎	○			○			◎		◎	○		
22MFNP1219	医療倫理特論	1	医療は、その性質から厳しい規制や遵守すべき事項が多くある。医療従事者は、これらの必然性について歴史的な意味も含めて十分理解したうえで実践していかなければならない。各人が倫理観を培い、今後生じてくるであろう新たな医療問題についても自身で考えうる能力を身につけることを目的とする。	1．医療倫理について理解する。 2．医療倫理に基づき、栄養管理を考えることができる。 3．事例ごとに、具体的に医療倫理の考えを応用できる。			◎	◎						◎					
22MFNP1220	健康政策学特論	1	人々の健康を決定づける要因は、個人が持つ生物学的機能のみではない。この科目では、人々を取り巻く社会環境としての健康に関する政策および政策を実現するための法律や制度について、受講生とともに考えることを目的とする。	社会環境と健康との関連性について理解できる。 健康政策とは何かについて理解できる。 健康政策実現化の方法について理解できる。 代表的な健康政策について理解するとともに、その政策について意見することができる能力を身につける。	◎		○	◎					○	◎		◎			◎
22MFNP1321	臨床医学スキルアップ実習	1	大阪大学臨床医工学融合研究教育センターの教育プログラムと本学大学院プログラムとの連携により、医学部、歯学部、工学部、薬学部といった既存の枠を越えた臨床実践教育や実習を実施し、医療ニーズ・患者ニーズを理解した高度先端医療に従事できる人材を育成する。	小人数グループによる系統的講義と実習によって構成される。例えば、必須科目である臨床医学スキルアップ実習では、医療現場や患者のニーズの理解を体験的に深めることを目的として、循環器や消化器の疾病や治療の最前線に関する講義や模擬体験を行う。	◎		◎							○		◎	○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1. 知識・理解		2．技能・表現				3．思考・判断			4. 態度・志向性		5．統合的能力			
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1	5-2	5-3	5-4
22MFNP1322	臨　床　実　習　Ⅰ	1	大学院での教育に加え、病院で実務経験を積み、科学的根拠に基づいた知識や技術を活用し実践できる管理栄養士を育成する。	到達目標は、NSTをはじめとするチーム医療に参画する専門職としての役割を理解できること、必要な科学的根拠の信頼性のレベルや検索方法を理解し、根拠の収集と整理ができること。 1．病院での役割を理解できる 。 2．病院における管理栄養士業務が理解できる。 3．チーム医療を理解し、協調性をもって関与できる。 4．傷病者の栄養評価、栄養療法を実践できる。 5．医療倫理を理解し行動できる。			◎									○	○	○	○
22MFNP2323	臨　床　実　習　Ⅱ	2	教育は大学院の机上で学ぶに留まらず、病院での実施研修を通じて実務経験を積み、患者や医療スタッフとのコミュニケーションの向上、科学的根拠に基づいた技能を活用し実践できる管理栄養士を育成する。	1．病院管理栄養士業務、役割を理解する。 2．栄養食事指導・病棟訪問などは実践し、各症例に応じた栄養管理計画の立案ができ、POSに基づきSOAPにて栄養カルテが書ける。 3．栄養教育媒体の作成ができる。 4．カンファレンス、緩和ケア・褥瘡対策・NSTなどのチーム医療へ参画し、自分の意見が言える。 5．研究課題は、諸学会でその成果を発表する。			◎						○			◎	◎	◎	◎
22MFNP1324	エビデンス臨床栄養学演習Ⅰ	1	病院の臨床栄養士には、他職種との連携（チーム医療）による包括的な栄養アセスメント能力が求められる。学外研修中の問題症例について、学内で症例検討会を行うことにより、臨床栄養士として幅広い専門知識や包括的な判断力を習得することを目的としている。	科学論文の解釈、作成ができる。	○		◎				○	○	○	○		◎		◎	○
22MFNP1325	エビデンス臨床栄養学演習Ⅱ	1	病院の臨床栄養士には、他職種との連携（チーム医療）による包括的な栄養アセスメント能力が求められる。学外研修中の問題症例について、学内で症例検討会を行うことにより、臨床栄養士として幅広い専門知識や包括的な判断力を習得することを目的としている。	科学論文の解釈、作成ができる。	○		◎				○	○	○	○		◎		◎	○
22MFNP1326	Ｐ　Ｏ　Ｓ演　習	1	学外研修で必要な医療面接に関する基本的知識を学び、傷病者や高齢者の症例を通じた実践的演習から基本的なスキルの習得を図る。	1．実際の症例から病態に応じた栄養管理計画が立案できる。 2．継続的な栄養指導において、重要な能力を身につける。 3．患者の病気だけでなく、社会的な背景など、包括的な栄養指導ができる。 4．最新の症例に関する情報を栄養指導計画に取り入れることができる。 5．症例のカンファランス（NST）に参加し、自分の意見が言える。			◎				◎	○	○	○		◎		◎	
－	食品衛生学特論	1	食品の安全に関する考え方、制度や仕組みについての最新情報および高度な専門知識を身につける。	原発事故に伴う放射性物質による食品汚染や大規模な食中毒事件など、食品の信頼性をゆるがす事件・事故が頻発している。本講義では、食品安全の現状と課題について理解する。		◎			◎		○	○			○			◎	
－	食品安全科学特論	2	食品関連化学物質の安全性を正しく評価・管理・広報し、それらが安全に健康増進機能を発揮する条件や、当該機能の内容と背景メカニズムを明らかにすることを学ぶ。	食品安全科学に関する最新情報や研究動向と、当該分野についての先端知識を把握し、自らの知識として利用できることが目標である。	◎		◎	◎	◎		○	○		○	○			◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1. 知識・理解		2．技能・表現				3．思考・判断			4. 態度・志向性		5．統合的能力			
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	5-1	5-2	5-3	5-4
－	健康食品学特論	2	健康食品は、一般に「特定保健用食品」、「栄養機能食品」、「機能性表示食品」、いわゆる「健康食品」に分類されるが、いずれにしてもこれらの食品が安全で、確実に効くことが科学的に証明されていることが重要である。本講義では、これら健康食品の安全性や有効性の科学的根拠となる論文についてセカンドオピニオンを実施し、医学・食品学・栄養学の立場から健康食品の有用性について考察する。	食品および食品成分の安全性や有効性の評価に必要な毒性試験や効力試験に関する知識を身につけることで、市販されている各種健康食品の安全性や有効性を正しく評価できるようになることが目標である。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○		◎	
－	栄養ケア食品特論	2	乳児、授乳婦や病者などを対象とした特別用途食品について理解を深め、それぞれの対象者が適切に選択、利用、適正な栄養管理がなされるような支援策を検討する。 特別用途食品を活用した調理法に関する支援策を検討する。 特別用途食品を活用した栄養指導法について検討する。 対象者の特性に応じた特別用途食品の選択方法に関する支援策を検討する。	特別用途食品に含まれる病者用、妊産婦・授乳婦用、乳児用、えん下困難者用の各食品ならびに特定保健用食品について、製品の評価と現場で有効に活用するために必要な知識と能力を身につける。	◎		◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○		◎	